

蔵前関西・午餐会資料

# 北摂の里山を歩いて

平成23年5月10日

文・写真 岩戸 利夫

(S40電子卒)

写真:能勢妙見の麓・吉川地区

## 日本の原風景

### 童謡

兎追いし、かの山  
小鮒釣りし、かの川  
.....

### 昔話

昔昔、ある所に  
おじいさんとおば  
あさんが住んでい  
ました。

おじいさんは、山  
へ芝刈りに、おばあ  
さんは川で洗濯を  
しに行きました。

上記の昔話や童謡に出てくる  
「山」とは里山のことである。

# 里山とは？(1)

森林学 ↓ 森林生態学

里山の考え方を導入

Y.E. 2009/11/28

## 四手井綱英さん死去

森林生態学「里山」大切さ訴え 97歳



日本の森林生態学の基礎を築いた元京都府立大学長の四手井綱英（しでい・つなひで）・京都大名誉教授が26日、肺炎で死去した。97歳。告別式は親族で行う。喪主は妻、淑子（よしこ）さん。

京都市出身。1937年、京都市立大農学部卒。営林局技手、林業試験場雪害研究室

長を経て、54年、京都大教授に。森林研究から環境問題、自然保護を説く先駆者で、国際学会で多数の論文が引用されている。著書は、「アカマツ林の造成」（63年）、「森の生態学」（76年）、「森林（1〜3巻）」（85〜2000年）。人と樹木が共生する場を意味する「里山」という言葉も造語、身近にある森の大切さを訴えた。

それまでの森林を生産の場とみる造林学から、森林を生き物や物質循環の場と考え、森林生態学の講座を京都大に全国で初めて開設。その研究方法論は国際的にも高く評価された。

里山に関する学問的研究は緒についたばかり

事例：龍谷大学里山学研究センター

## 里山とは？(2)

「木曾山雜話」 (宝曆九年(1795))

名古屋徳川藩 木曾御村木方

木曾村木奉行補佐格

寺町兵右衛門

村里家居近き山を

指して里山と申し候



## 里・里山・奥山



### 里

里人が生活  
している場所

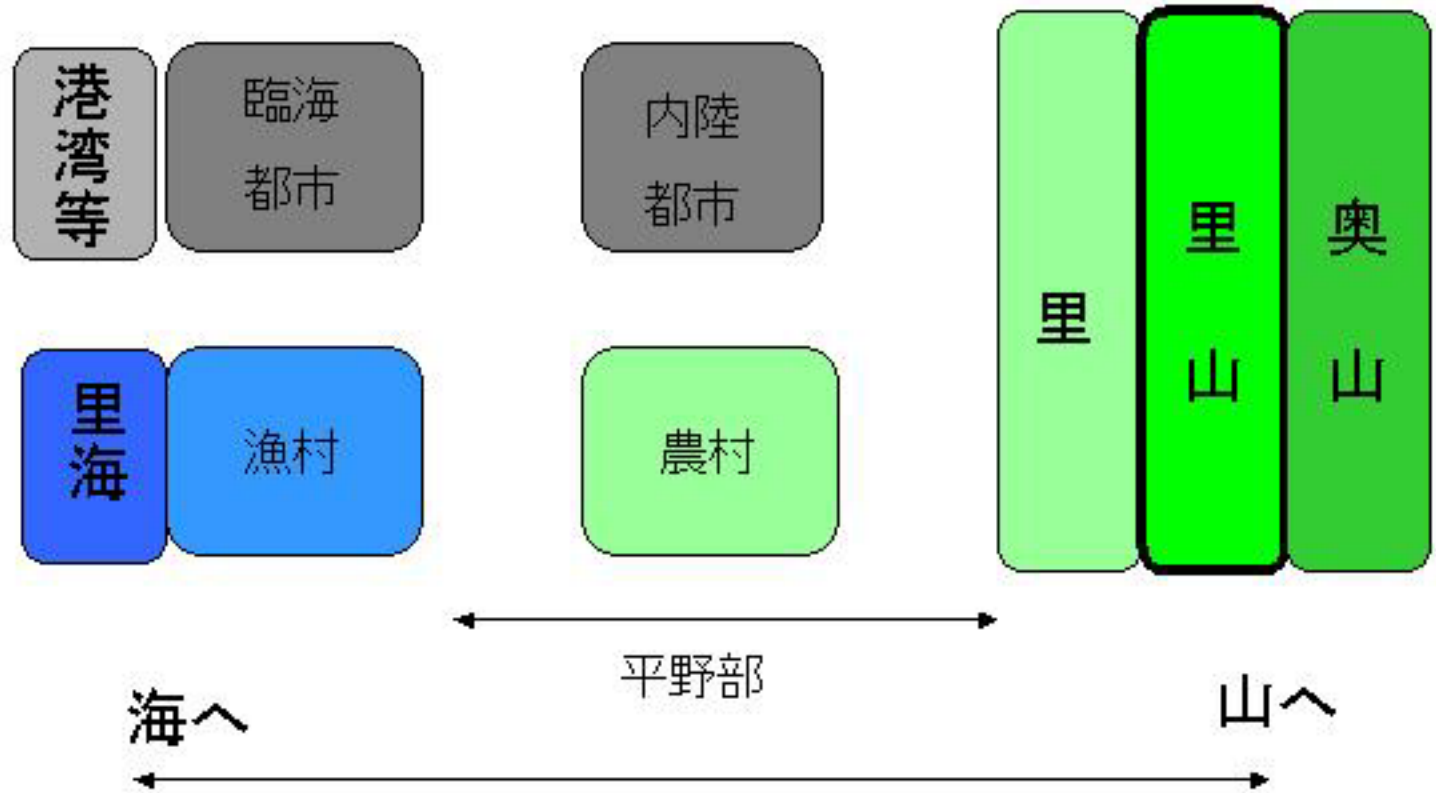
### 里山

里人の生活基盤の  
一つであり、里人に  
より維持されて来た

### 奥山

野生の動物が  
住んでる所

# 里山の空間的位置づけ



## 里山は縄文時代からあった？

青森県山内丸山遺跡、福井県鳥浜貝塚など

遺跡の食物痕跡を調べると、木の実は、自然のものではなく、栽培されたものであることが確認されている。

山内丸山遺跡周辺：元はブナ林、これが数千年前に、草原に変化している。

残った樹木もブナから、クリ、ナラ、ドングリに変化。

原因：火を付けて、森を人為的に変化させた？

## かつては、いろいろ利用されていた里山

\* 生活用燃料 薪、他

\* 炭 自家用の他に都会へ販売

\* 食料 木の実、キノコ、他

棚田での米栽培

イノシシなどの動物：古典落語「池田の猪買い」

\* 住宅用建材

\* 工業的利用 製鉄：砂鉄の採取、製鉄の際の燃料

製塩のための燃料

陶芸のための土、燃料



## 里山の管理形態

- |     |                                   |                                    |
|-----|-----------------------------------|------------------------------------|
| 公有地 | 藩領等                               | 産物の公有化<br>統治上の理由                   |
| 入会地 | 里人の生活をささえたのが主にこの形態<br>管理は、里人の共同作業 |                                    |
| 私有地 | 寺社<br>大規模地主等                      | 里人の利用を許可した事例もある由<br>整備・保全に里人の労力を利用 |

## 里山はシステムである

(里山は)固定した自然でもなければ、社会でもない。常にさまざまな要素が関わり合い続け、人と自然とがからみ合って変容を続けるシステム、それが里山なのかも知れない。

.....

(そして)人間もそのシステムの一部である。

「いま里山が必要な理由」 田中淳夫 洋泉社

→ このように考えると、システムの一部または全部が壊れた時、里山の崩壊が始まる。(岩戸)

## 里山の崩壊

里山を放棄 生活構造等の変化により、維持されなくなった

里山の産物に対する需要の激減

需要激減した産物例：炭、建材、他

里人の高齢化による耕作等の放棄

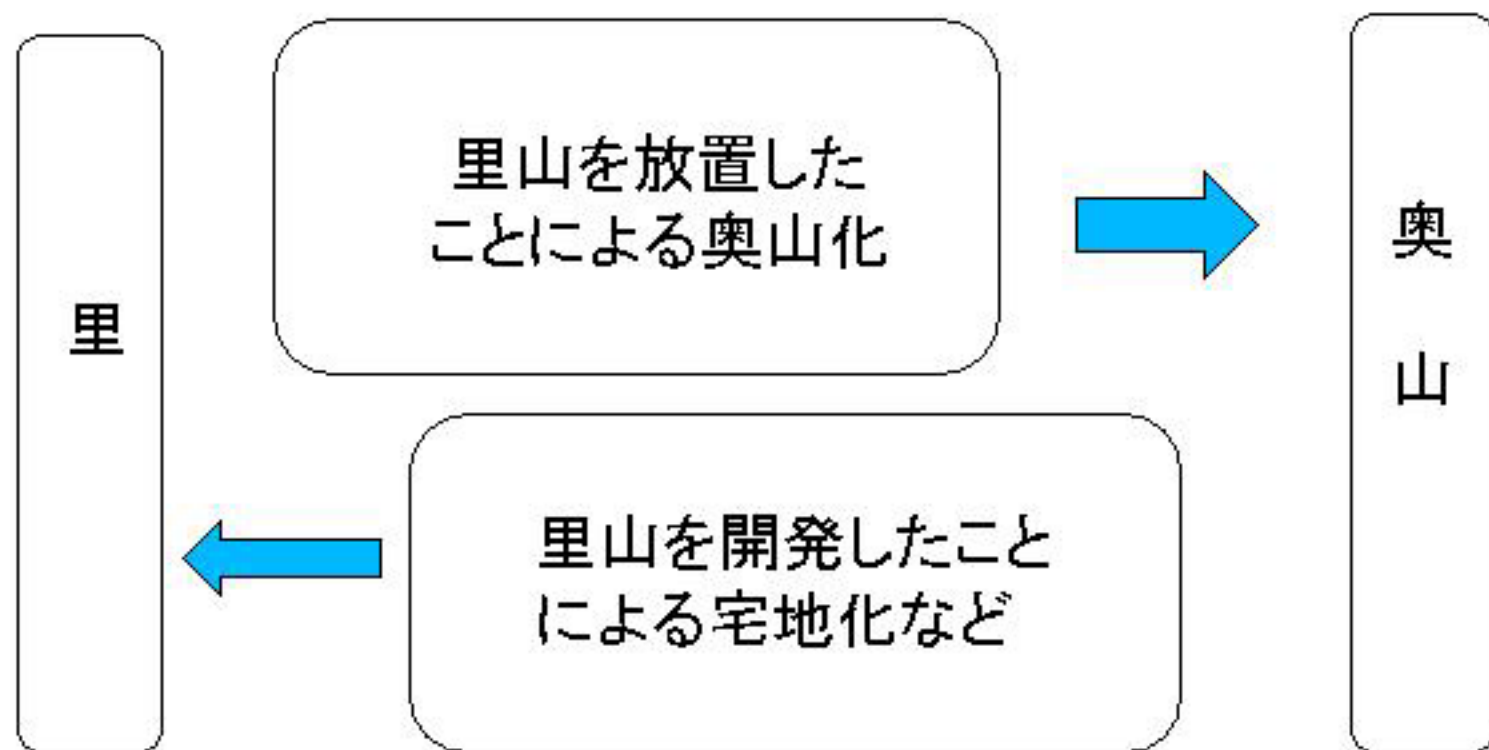
里山の「開発」(?) 高度成長時代に各地で開発進行

宅地化、ゴルフ場、その他

以上の2つの変化により、里と奥山が近接

→ その結果、奥山の動物が里へ出没するようになった

## 里山の荒廃



里と奥山のバッファゾーンが消失



# 荒れた里山 1 (ジャングル状態)



川西市黒川地区



## 荒れた里山 2



川西市黒川地区(ツタを除去するために根元をカット)



### 荒れた里山 3



川西市黒川地区(ツタに締め付けられた樹木)

## 開発による破壊



川西市舎羅林山 開発途中の山 10年以上、この状態



森の土  
CO<sub>2</sub>吸収源に期待



国内に炭素46億トン蓄積  
植物の4倍、年間排出量の14倍

温暖化防止の有効策にも



森林土壌調査に先だって行われた講習会（2008年8月、岡山県真庭市で）※森林研研提供

## 里山イニシアティブ

生物多様性条約会議において、生物環境維持のための考え方として、日本の里山の概念が提起され採用された。

### 【SATOYAMAイニシアティブの提唱】

この緊急な課題に取り組むため、環境省と国連大学高等研究所（UNU-IAS）はSATOYAMAイニシアティブを提唱しています。SATOYAMAイニシアティブはエコシステムアプローチなど既存の基本原則を踏まえ、関連する活動を世界的に推進していくものです。

本イニシアティブの核となる長期目標（Vision）は「自然共生社会」の実現、すなわち人と自然の良好な関係が構築されている社会の実現です。

<http://satoyama-initiative.org/jp/about>

## 北摂の里山

黒川地区は、次の点から日本一の里山ともいわれています。

○全国的に貴重な今でも

利用（一庫炭）されている里山である（文化性）

○モザイク状の昔の里山景観が見られる（景観性）

○平安時代までさかのぼれる（歴史性）

○カブトムシやクワガタムシ、チョウなどが

生息する（生物多様性）

など多くの特徴を持っているなどからです。

（北摂里山博物館より）

川西市ホームページより

[http://www.city.kawanishi.hyo.go.jp/sangyo\\_list/nouringyo/kurokawa.html](http://www.city.kawanishi.hyo.go.jp/sangyo_list/nouringyo/kurokawa.html)



# 炭焼き窯



(現在も使用されている窯)



## 炭焼き窯(放置された窯)





## 炭焼き:お台場クヌギ



太い幹の上に出てきた枝が適当な太さになった時、切り取り、炭焼きする



## 炭焼き:モザイク模様



炭焼きのために伐採した跡

## 炭焼き:モザイク模様その2



伐採した跡の植林が成長して来た。次の伐採まで約10年を要するとのこと

## 棚田の朝(能勢町長谷地区)





## 棚田：早苗の風景



# 棚田：刈り入れ直前



大阪府能勢町長谷地区



# 棚田：刈り入れ：その場で脱穀







耕作放棄された棚田：丹後半島にて

## 北摂の桜

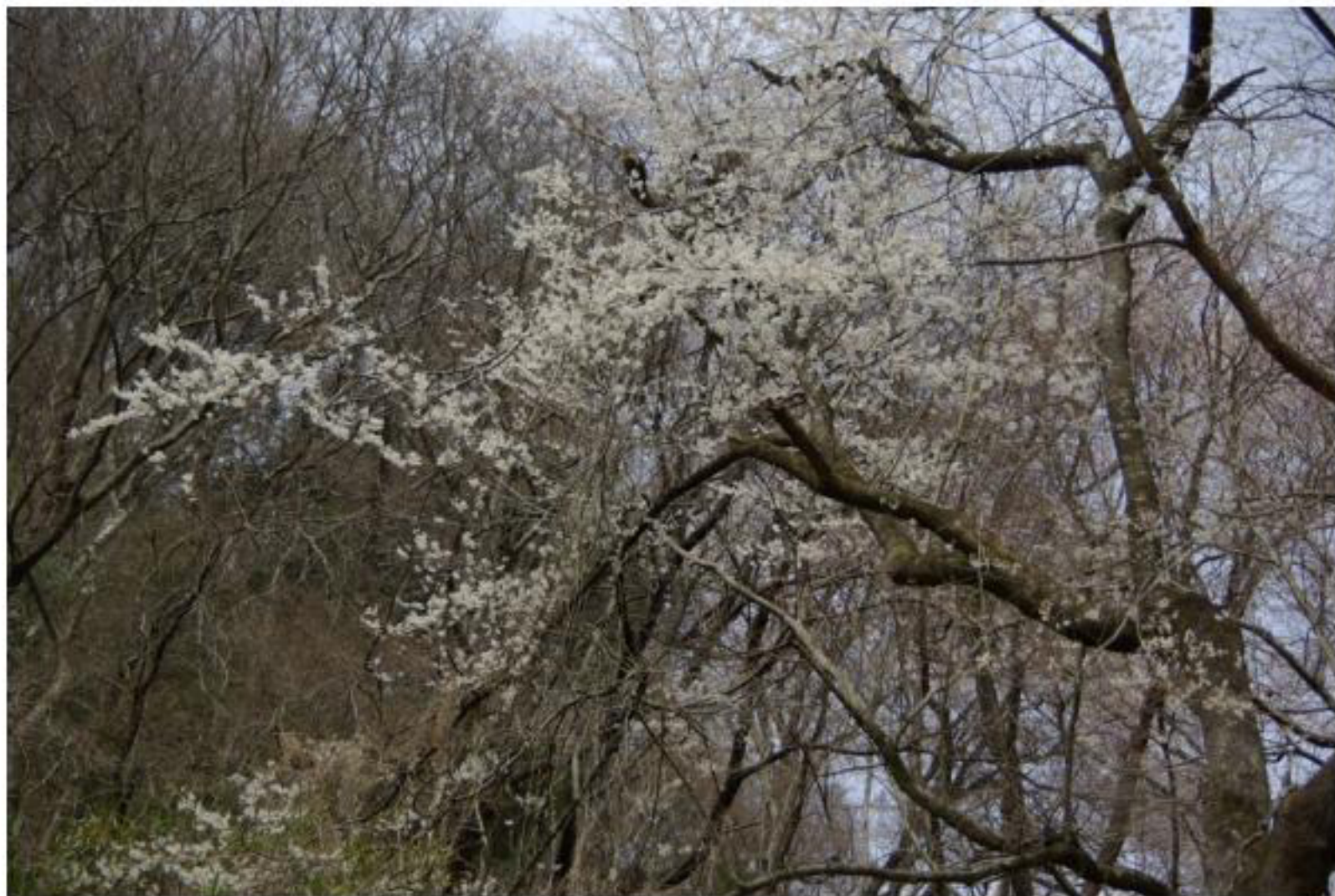
山桜、エドヒガンなどの自生の桜が各地にある。現在、日本で桜というと、イコール染井吉野となってしまったが、日本で古来桜と言われているのは、山桜である。

宝塚市武田尾にある「桜の園」は、水上勉の小説「桜守」のモデルとなった笹部新太郎氏が桜の維持、桜守になる人の演習林として整備したものだ。一時荒れていたが、宝塚市がこの地域を買い取り、ボランティアが、整備保全に努めている。

注：染井吉野は江戸時代に江戸・吉野村の植木屋さんがエドヒガン系のコマツオトメとオオシマザクラを交配して作った人工品種。

桜守の会 <http://www.sakuramori.net/>





川西市・黒川地区・桜の森

## 桜の写真



武田尾：桜の園：笹部桜



## 都会人と里山

都会人が里山に関して何が出来るか？

1. 里山への関心を持つこと
2. ときには里山へ出かけましょう！
3. 里山の大部分は私有地です。

他人様の土地へ入らせて貰っていることを忘れずに  
路傍、雑木林・森林内の草木などの無断採取は厳禁

4. これだけは絶対にしないこと(次のスライド)



高代寺山への登山道で



不法廃棄された建設廃材(高代寺山登山道にて)



## 多田銀山

江戸時代は、銀山を管理する奉行所も置かれ、大きな一つの村を形成していたとのこと。奈良時代に始まっており、ここで産出された銅が、東大寺の大仏建立にも使われたとのこと。

また、豊臣家没落の時、財宝をここの坑道のどこかに隠したという言い伝えがあり、それを信じて長年財宝探しをしている人も居る。言い伝えどおりであれば、現在価値に直して数兆円のオーダーになるとか・・・

参考 悠久の館(多田銀山奉行所跡) 猪名川町  
銀山の炉、及び鋳滓の跡 川西市郷土館

## 清和源氏発祥の土地

鎌倉幕府を開いた源頼朝は、清和源氏の一族であり、足利幕府の足利氏、徳川幕府を開いた徳川氏、いずれも清和源氏である。

多田神社を始め、関連する寺社が市内に多数ある。

多田神社縁起より:御祭神源満仲公、天禄元年(970)当時、攝津守であった公が一の宮住吉明神(現在の住吉大社)に参籠、御神託を蒙り此の地を開拓、源氏の居城となし(本朝、城の初まり)円融天皇より此の城をもって禁裏守護職武門の棟梁万代の居城たるべしとの勅詔を賜ったとある。



多田神社



## 戦国時代の城跡

池田城（池田氏、荒木氏）

有岡城（荒木氏：平城）

山下城（塩川氏：清和源氏の有力ご家人）

地黄城（平城）・丸山城（能勢氏）

新田城（別名：多田城：平城

①清和源氏 ②塩川氏 詳細不明)

吉川城

他

## 三矢サイダー発祥の地

多田源氏の祖、源満仲がこの地を選ぶ際に、3本の矢を打ち、落ちたところにする決めた。その故事にならい、「矢間」という地名がある。また、市内平野地区に鉱泉があった。これを原料に日本で初めてサイダーが作られ、三矢サイダーと命名されたが、これは、上記の3本の矢にちなむ名前である。工場跡地に、小さな記念館がある。

今は再開発が進んでいる。

(多分、ホームセンターとマンション?)

三矢サイダー発祥の地





## 北摂の「地酒」

銘柄:白雪(シラユキ)、ひとつ火(ヒトツビ)、寒蔵保存吟醸酒

醸造:小西酒造(伊丹市) <http://www.konishi.co.jp/>

銘柄:老松(オイマツ) 醸造:伊丹老松酒造(伊丹市) <http://www.oimatsu.biz/index.htm>

銘柄:大手柄(オオテガラ) 醸造:大手柄酒造(伊丹市) <http://itamisake-kma.jp/ootegara.html>

銘柄:花衣(ハナゴロモ) 醸造:川辺酒造(猪名川町) <http://www.hanagoromo.co.jp/>

銘柄:秋鹿(アキシカ)、摂州能勢(セッシュウノセ) 醸造:秋鹿酒造(能勢町)

銘柄:呉春(ゴシュン)、本丸(ホンマル)、特吟(トクギン) 醸造:呉春(池田市)

銘柄:緑一(ミドリイチ) 醸造:吉田酒造(池田市) <http://www15.ocn.ne.jp/~midori-1/>

<http://www.asahi-net.or.jp/~lw1h-td/sjizake.htm> より

## 旧平賀邸

川西市小戸にあった平賀義美工学博士（日本初の工学博士）の住宅を移築保存したもの。他に実験研究棟、東屋、門なども復元されている。

補足：平賀博士は東工大の教授をしていた時期がある。大阪の化学工業界の振興に寄与。リタイア後も別棟の研究等で実験研究に励んで居られた由。

場所：川西市山下地区にある郷土資料館の敷地内

<http://blogs.yahoo.co.jp/hondacp77/58823583.html>

<http://www.tcn.zaq.ne.jp/sakitaka/kentiku2/hiragatei.html>

参考：[http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/H/hiraga\\_y.html](http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/H/hiraga_y.html)

<http://monokatari.jp/isitaki/file002.php?itemid=2880>

END

ご静聴、

ありがとうございました